

名古屋市 認知症条例 制定へ向けた検討をスタート！

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進するため、名古屋市では条例制定に向けて動き始めました。

平成三十一年度の公布を目指し、今後一年をかけて、医療・介護・福祉・法律の専門職、介護者家族、学識経験者等と検討を重ねていきます。

認知症の方やその家族が安心して暮らせる まちを目指して

名古屋市では、認知症の早期発見・早期対応の仕組みづくりを始め、様々な認知症施策に力を入れて取り組んできました。これまで段階的に、各いきいき支援センターに認知症初期集中支援チームと認知症地域支援推進員を配置。「地域で支える仕組みづくり」「医療・介護サービスの提供」「権利擁護の充実」「介護する家族への支援の充実」等、それぞれの分野において施策の拡充を進めています。

こうした流れをさらに加速し、市、市民、関係機関が一体となり「認知症になっても安心して暮らせるまち」の実現を目指す取り組みの基柱として、新たな条例の制定に踏み切ることになりました。

今年度は条例制定に向けた懇談会を開催し、専門職や関係機関、学識経験者、さらには当事者の声を聴き、条例に反映させます。その一回目の懇談会が平成30年7月4日に開催されました。懇談会の目的を共有するとともに、認知症の取り組みについて活発な意見交換が行われました。また、認知症の方が起こした事故等に関する救済制度の具体的な内容を検討する「事故の予防と救済に関する専門部会」を開催することに決まりました。

◆他都市の認知症条例

すでに認知症に関する条例を施行している市があります。

大府市では「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」を施行し、市、市民、事業者等の役割を明確にするとともに「正しい知識の普及」「予防」「認知症の人及びその家族への支援」に関する施策などの方針を定めています。

また、神戸市では「神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例」を施行。高齢運転者による交通事故の防止や移動手段の確保等についても触れています。さらに、認知症と診断された方による事故について、別に条例を定め、給付金を支給する制度を検討しています。

なごやの認知症の今が分かる

● 発行 ●

名古屋市認知症相談支援センター

✉ n-renkei@nagoya-shakyo.or.jp

☎ 052-919-6622 ☎ 052-913-8553

※ 本センターは、名古屋市社会福祉協議会が名古屋市から委託を受けて実施しています。

ソフトボールを通して当事者と中学生が交流

平成30年1月13日、名古屋市北区の名古屋市立八王子中学校にて、市若年性認知症本人・家族交流会「あゆみの会」メンバーと八王子中学野球部によるソフトボール交流が行われました。

あゆみの会メンバーの鈴木さん（写真左端）は野球が趣味でしたが、認知症と診断後、プレーの機会が減ってしまいました。そういった状況を八王子中学校の先生方に相談したところ、今回の交流を行うことになりました。

交流にあたって、野球部のみなさんは認知症サポーター養成講座を受講し、認知症について学びました。この講座には鈴木さんも参加し、自らの症状や、野球への熱い思いを語りました。

迎えた当日、参加したみなさんが、年齢や認知症のあるなしに関係なく、いっしょに白球を追う姿に、とても心が温まる思いでした。



中学生と談笑する鈴木さん（左）
野球が好きという共通の思いが、両者の距離を縮めた。

すすめ！あなたのまちの推進員（第五回） 認知症なんてどうってことない ～西区おもしろいやり宣言～

西区



平成30年3月9日、西区では「認知症なんてどうってことない 西区おもしろいやり宣言」がありがとうのか、ただ、しあわせも「やっこ」を出しました。

西区で認知症の宣言をするきっかけは、若年性認知症当事者山田真由美さんによる相談窓口「おれんじドア」も「やっこなごや」の開設でした。「おれんじドア」も「やっこなごや」は、毎月1回開催しています。そこでは当事者の方同士が、山田さんを交えてお話をすること、思いを共有したり、元氣になったり、一歩踏み出す気持ちになつたりしてきました。

そういった様子を見てきた私たちの責任がある」とし認知症の宣言をだすことになり、平成29年12月におれんじドアに参加されている当事者の方に意見を聞きました。そこでは「自分でできることは自分でやる。でも、できないこともある。」「認知症と伝える



ことで助けてもらえる。」「お互い様で支え合っていきたい。」「認知症になっても目標もあるしやりたいこともたくさんある。」など、意見がたくさんありました。

その意見をもとに、平成30年3月9日には、西区長と山田真由美さんが、多くの方の前で宣言を発表しました。

今後、宣言に負けない西区になつていくように、これからも推進員として取り組んでいきたいです。

なごや認知症カフェ 開設者 向け研修会開催のお知らせ

来る平成30年8月22日（水）、「なごや認知症カフェ開設者向け研修会&助成事業説明会」を開催します。この研修会では、新たに認知症カフェの開設を検討している方に、認知症カフェについて知ってもらい、併せて開設助成・運営助成に関する説明を行うことで、カフェの立ち上げを後押ししたいと思います。

講師には全国の認知症カフェを取材している、ジャーナリストのコスガ聡一さんを迎え、認知症カフェの役割や在り方についてお話しいただきます。

日時…平成30年8月22日（水）
場所…IMYビル（東区葵3の7の14）
申込…名古屋市認知症相談支援センターまで

はい、こちらは認知症 コールセンターです！

平成29年度
延相談 1,254件

平成29年度の相談実人数は605件、延件数は1,254件でした。特に介護保険未申請の方からの相談が多いのが特徴です。また、相談者の内訳では、家族からの相談が最も多かったです。

●よくある相談例●

・家族が、同じことを何度も言った
り、物をよくなくすようになった。
認知症ではないかと心配。

【対応】まずはかかりつけ医に相談し、紹介状をもらって認知症の検査のできる病院にかかっていただくようお願いしています。

お電話を受けたら丁寧にお話を聞き、不安な気持ちを受け止めることを大切にしています。
ぜひ、お気軽にお電話ください！

1日あたりの
平均相談件数
(30年4月・5月)

4. 6件